

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
子どもの育ちと支援 Aid for Childcare		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし。)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
大塚 登	本館2階	火・水・木・金曜日の9時～17時		授業中に指示します
授業の概要				
国及び地方公共団体は児童の保護者とともに児童を心身ともに健やかに育成する責任を負うことが児童福祉法に述べられている。受胎後から大人になるまでの各年齢段階において、健やかな育ちを保障するためには福祉のみならず、医療や教育など様々な支援が必要である。この授業では障害を持つ子どもや養育環境が整っていない子どもたちの育ちに関する様々な支援について紹介する。				
授業の目標				
特別な支援を要する子どもに対し、 ①社会的養護の理解を深め、福祉支援について説明できるようにする。 ②医療・教育・工学などの面からの支援について説明できるようにする。				
授業の方法				
各発達段階における医療、福祉、教育、工学支援を解説する。その際、映像資料をできるだけ使い、教育支援では学生の過去を振り返り「あれがそうだったのか」と思い起こさせ、学生の理解を深めたい。				
学習の成果（学習成果）				
受胎前から成人期に至るまでの医療、福祉、教育、工学支援について総合的に説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方、評価の方法）、医療支援1（妊婦健診）、小テスト			
第2回目	医療的支援2（新生児マススクリーニング検査、乳幼児健診、助産施設）、小テスト			
第3回目	福祉支援1（乳児院、里親）、小テスト			
第4回目	福祉支援2（児童発達支援、障害児保育）、小テスト			
第5回目	教育支援1（特別支援学校幼稚部、就学児健康診査）、小テスト			
第6回目	医療支援3（福祉医療制度、自立支援医療）、小テスト			

第7回目	福祉支援 3（情緒障害短期治療施設、児童養護施設、ファミリーホーム）、小テスト	
第8回目	教育支援 2（特別支援学校、特別支援学級）、小テスト	
第9回目	教育支援 3（障害を持つ人の中等・高等教育、就職）、小テスト	
第10回目	福祉支援 4（児童養護施設の子どもの進路支援、自立援助ホーム）、小テスト	
第11回目	教育支援 4（通級指導教室、適応指導教室、不登校）、小テスト	
第12回目	教育支援 5（人権教育、保育体験プログラム）、小テスト	
第13回目	福祉支援 5（障害者支援施設、地域における自立支援の取り組み、バリアフリー）、小テスト	
第14回目	工学支援 1（福祉機器、福祉工学）、小テスト、レポート課題	
第15回目	授業のまとめ（レポート課題をもとに、理解したことと感想をまとめ発表し合う）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	15%	授業に遅刻せず、集中し、メモを取る態度であれば、毎回1%です。
レポート	15%	受胎から成人に至るまでの福祉・医療・教育・工学面からの支援について、1200字以上でまとめる。
調査報告書		
小テスト	70%	小テストでは知識の定着を図る穴埋め問題（10問）と自分の言葉でまとめる論述課題（1題）を出します。5%×14回=70%。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
毎回プリントを用意します。		
履修上の留意点・ルール		
毎回プリントを用意するので、ファイルを用意してください。		